

2024 年度日本消化器視鏡学会関連研究会
第 4 回自己免疫性胃炎の診断基準確立とその臨床病理学的意義に関する研究会

会期：2024 年 6 月 1 日(土) 16:00 ~ 19:00

会場：TKP 品川カンファレンスセンター ANNEX カンファレンスルーム 4

場 所：東京都港区高輪 3-13-1 TAKANAWA COURT 3 階

参加形式：会場参加*

会費：2000 円

※座席数に限りがございます。あらかじめご了承ください。

プログラム

【はじめに】

本研究会の意義と概要について

川崎医科大学総合医療センター 春間 賢

【基調講演①】 16:00~16:30

自己免疫性胃炎の組織学的自然史：初期から終末期まで

PCL JAPAN 病理・細胞診センター 渡辺英伸

【基調講演②】 16:30~16:50

病理側から指摘された自己免疫性胃炎 - 内視鏡医が診断できない AIG ってこんなに多いの!? -

がん研究会 有明病院 上部消化管内科 平澤俊明

【一般演題】

16:55~ (発表時間 7 分 ディスカッション 3 分)

①鉄欠乏性貧血が診断契機となった若年者自己免疫性胃炎の 1 例

聖隷浜松病院 消化器内科 海野修平

②自己免疫性胃炎と鑑別を要した胃体部に限局する *H. pylori* 胃炎

岐阜県総合医療センター 消化器内科 山崎健路

③胃過形成性ポリープ多発が診断のきっかけになった A+B 型胃炎の 1 例

(A:早期病変 ROM 0 期、B:Hp 現感染)

春藤内科胃腸科 春藤譲治

【パネルディスカッション】

テーマ：ピロリ菌感染と自己免疫性胃炎

17:30～ パネリストの先生方からの発表（各発表時間 10 分以内）

①自己免疫性胃炎に対する *H. pylori* 感染の影響についての検討

北海道大学病院光学医療診療部 早坂秀平

②HP 除菌治療を行った AIG 症例の検討

藤枝市立総合病院 消化器内科 丸山保彦

③除菌前後の病理組織変化を検討し得た A+B 胃炎症例

加古川中央市民病院 鈴木志保

④B 型胃炎に併発する自己免疫性胃炎の特徴と診断上の課題についての自験例報告

医療法人新生会 伊原内科医院 伊原隆史

⑤ *H. pylori* 感染胃炎に潜在する自己免疫性胃炎の内視鏡診断－“発赤を伴う胃小区腫大”に着目して

宇治徳洲会病院健診センター 小寺 徹

⑥ *H. pylori* 関連・非関連自己免疫性胃炎の鑑別について

ふるた内科クリニック 古田隆久

18:30～ 参加者全員でディスカッション

議論テーマは主に、

①A+B 型胃炎は除菌前に診断可能か。 ②A+B 型胃炎は除菌するとどうなるか。
を予定。

【多施設共同研究の進捗状況について報告】

加古川中央市民病院 消化器内科 寺尾秀一

藤枝市立総合病院 消化器科 丸山保彦

社会医療法人石川記念会 HITO 病院 綾木麻紀

会場案内

TKP 品川カンファレンスセンター ANNEX カンファレンスルーム 4

場所：東京都港区高輪 3-13-1 TAKANAWA COURT 3階



品川駅（高輪口）から徒歩5分。セブンイレブン前の横断歩道をわたってさくら坂を道なりに進むと右手に高輪コートビルが見えてきます。会場は高輪コートビルの3階です。高輪コートビルはザ・プリンスさくらタワー東京のタクシー乗り場の向かいにあります。